

外国語教育研究と高等教育に おける言語教育への展望

外国語教育研究センターAOPシンポジウム
「慶應義塾における言語教育のグランドデザイン」
-共通基盤としての言語教育のフレームワーク構築
に向けて-

2007年11月17 境 一三

外国語教育研究センターの使命

- 外国語教育に関する**研究**を行う
 - 単なる教授法研究を超えたもの(例: 政策研究)
 - 慶應義塾の外国語教育のあるべき姿を探求する
 - 言語教育政策の研究と具体的施策の実施 グランドデザイン
 - 慶應義塾における外国語教育の質的向上に資する
 - 学習者の実態を把握する: 問題を認識し解決策を練る
 - 学生の学習活動をサポートする
 - 教員の教育活動をサポートする
 - 教員研修(教員養成?)
 - 研究活動と教育活動の一体化

日本における外国語教育(英語以外) の低迷とその原因

■ 外的要因

- 英語圏以外の文化・学問の影響力の低下と英語化
- 英語圏以外の社会の影響力の低下, 報道の少なさ
- 社会における英語以外の言語の必要性の低さ

■ 内的要因

- 大学生の学力低下と負担の軽減(大綱化時の第2外国語の廃止, 単位数削減)
- 明確なビジョンがない第2外国語
- 出口論の欠如(カリキュラムの欠如)
- 教員の質と採用の問題

慶應義塾大学の外国語教育

- 成功しているか？
- 学生は満足か？
- 教員は満足か？
- 学生は社会の先導者たるにふさわしい言語能力を身につけているか？

Yes or No?/ Yes and No?

政策的問題

- 外国語教育を通してどのような人材を養成するか、明確なビジョンが必要
- 外国語教育のグランドデザインが必要
- 現場を理解した上で言語教育政策を議論できる力のある教員を集める / 養成する
文科省の政策に影響力を持つ
- 慶應義塾には専門家が不足している
- 大学院レベルの教育が必要

現場の問題

- 大学の教員は「素人」だらけ
 - 文学科出身者中心の教員採用は望ましいのか？
 - 教員養成が行われてこなかった
 - 教員養成者も養成されてこなかった
- 中学・高校の教員養成はされているが...だれが教科教育法を担当する？

対策

- 新任教員の研修、現任教員の研修
- 教員予備軍(大学院生)の教育
 - 文学部の大学院教育の中に外国語教育のプログラムを組み込む(文学, 言語学, 言語教育学の3分野は等価)
- 外国語教育専門の研究科設立を視野に入れた研究活動を活発にする
- 教員養成者の養成

外国語教育研究は...

- 高等教育における外国語教育を実効あるものとするために不可欠
- 人材養成
 - 立案
 - 実施
 - 点検